



教授 (特任)

自己紹介

私は 30 年以上の月日を盲学校
寄宿舎で勤務してきました。

今まで経験してきた視覚障害児
者の生活支援の場面では、先天
性視覚障害者と中途視覚障害
者の支援や、見え方の違いによる
生活上の困難への配慮や支援、
人生の節目ごとに生じる課題へ
の相談・支援、生活環境の違い
や生育歴を丁寧にアセスメントし
た上での支援計画の作成など、
寄宿舎教育の現場で培った専門
性を土台に、皆様との学びを深
め、研究活動に取り組んでいき
たいと思っています。
よろしくお願いいたします。

専門分野・研究テーマ

- ① アイマスクを装着した状態での歩行を想像してみてください。衝突や転落の不安、恐怖が想像できると思います。視覚障害者にとって歩行するということは、常に危険と隣り合わせになっていることが分かります。自分の意志で行きたいところを選択でき、自分の都合に合わせて移動することを可能にするための歩行の獲得は、視覚障害者の自立した生活を実現するうえで重要な訓練課題だと捉えています。視覚障害者の歩行訓練について、視機能低下のシミュレーション体験による演習を通して、その有効性を検討します。
- ② 見えない見えにくい人はどうやって調理をしているのでしょうか。お化粧品は、掃除はどうしているのでしょうか。便利グッズの活用や、視覚以外の感覚を活用した工夫があれば、自立した生活は可能です。具体的な生活場面 (調理, 洗濯, 掃除, 化粧, 食事など) を取り上げ、シミュレーション体験を通して、グッズの活用方法や視覚以外の感覚での工夫の方法について検証し、効果的な支援方法を検討します。同時に、視覚障害者の暮らしについての調査を行い、生活上の課題整理をします。

白杖の選び方



白杖の長さですが、一般的には
直立して剣状突起(みぞおちの
すぐ上の骨)から5~10センチ程
度、または身長から40~45セン
チを引いた程度の長さ、白杖を
垂直に立てて脇の下の位置にく
る程度の長さで、やや長めのも
のが適当ともいわれていますが、
体格、歩く速さ、歩幅によっても
多少変化します。

※ 歩行訓練士による訓練を受
けた上で、その人の身長、歩幅、
反応速度などに応じて選ぶのが
望ましい。

「調理用具」

白黒まな板



材料の色の違いで、
使い分けると見やすく
便利です。

例:
白色面でキュウリ、
にんじんなど



黒色面で大根、玉
ネギなど

学生へのメッセージ

岡山で様々な専門分野の人と取り組んできた視覚障害者支援の地域実践で培った経験を活かし、活動の様子もお伝えします。そのなかで、私の出会った素敵な仲間たちを紹介できればと考えています。

様々な人たちとの出会いを通して、体験し学び合いたいと思います。

視覚障害生活訓練指導員(歩行訓練士)として、視覚障害者のヒューマンガイドについて多くの方に知っていただくための活動を 10 数年続けています。興味関心がある方は、是非声をかけてください。

